

厚生労働科学研究費補助金(統計総合研究事業)
「地域包括ケアシステムにおいて活用可能な国際生活機能分類(ICF)による
多領域にまたがる評価手法の確立に資する研究」
令和2年度 分担研究報告書

地域包括ケアで活用する ICF コアセットの検討

研究分担者 小松雅代 (大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座環境医学)

研究要旨

人々が地域において療養生活を行う際のアセスメントとして、環境要因は重要な評価項目のひとつである。本研究は、地域包括ケアにおいて考慮すべき環境要因について ICF の構成要素の1つである「環境因子 (Environmental Factors)」に着目し、評価項目を検討することを目的とした。

評価尺度の項目を ICF のコーディングを行うことで、評価尺度が ICF のどの構成要素に該当するかを明らかにすることができる。分析を行った 37 の評価尺度のうち「環境因子(e)」が含まれていたのは 9 つであった。また、評価尺度は ICF の構成要素「活動と参加 (d)」、「身体構造 (s)」、「心身機能 (b)」、「環境因子 (e)」がいくつかの組み合わせにより構成されていた。今後は、地域包括ケアにおいて必要な環境因子について、それら評価尺度を用いて「活動と参加」、「身体構造」、「心身機能」と「環境因子」がどのように相互作用を働き、生活機能にどう影響を与えているについて科学的な分析を行う必要がある。

A. 研究目的

ICF の概念では、健康状態は 3 つの生活機能と 2 つの背景因子から捉えている。そのうち「環境因子 (e)」は生活機能に影響を与える背景因子のひとつであり、特に「活動と参加 (d)」への影響が大きい因子である。ICF における環境因子とは、「人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子のことである」¹⁾と WHO より定義されている。

本研究は、ICF の視点から物的側面や社会的側面を含む「環境因子」がどの程度評価尺度の項目に含まれているのかを分析し、今後の「活動と参加」、「身体構造 (s)」、「心身機能 (b)」と「環境因子」の関連と評価に関する基礎資料とすることを目的とする。

B. 研究方法

37 の評価尺度と、地域包括ケアに関連する要介護認定、老研式活動能力指標 TMIG-index (Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology-index)、認知機能検査の MMSE (Mini-Mental State Examination)、ZARIT 介護負担尺度の 4 つの評価尺度を用いて、それぞれの評価尺度について ICF のコーディングを実施し、評価尺度の構造について分析を行った。

C. 研究結果

37 の評価尺度のうち、35 は「身体構造」のコードを構成していた。続いて、「活動と参加」は 33、「心身機能」は 32、「環境因子」は 9 が評価尺度に構成されていた。ICF の 4 つの構成要素すべてを含む評価尺度は 8 つであった。最も多い組み合わせは、「心身機能」、「身体構造」、「活動と参加」を含む尺度であった(表)。

地域包括ケアに関連のある評価尺度の要介護認定は、「心身機能」、「身体構造」「活動と参加」のコードが多くを占めていた。TMIG-index は、「活動と参加」のコードのみであった。MMSE は、「心身機能」のみで構成されていた。ZARIT は、「心身機能」、「活動と参加」、「環境因子」から構成されていたが、ICF コードを定義できない項目も多かった。

D. 考察

今回分析を行った評価尺度は、「環境因子」項目が含まれている割合は低かった。評価尺度を用いる目的は、人々の疾患のスクリーニングや診断補助としていることから、「身体構造」や「心身機能」の項目が占める割合が高いことが窺える。

評価尺度には、人々の生活全般に関与する「活動と参加」に関する項目も多く構成されていた。「活動と参加」の構成要素には、実際に行われているかという実行状況と、できるかどうかという能力の 2 つの評価点が存在する。評価尺度の多くは、後者を示していると考えられる。「活動と参加」の実行状況は、個人の現在の環境のもとで行えているかを評価するものである。そのため、物理的側面や社会的側面、人々の社会的態度の側面等すべての環境因子の側面が影響するため、「活動と参加」と「環境因子」との関連が重要となる。

しかし、今回分析を行った評価尺度の多くは「環境因子」は含まれていなかった。そのため、個人の「活動と参加」を評価する際は、「環境因子」をプラスした実行状況の評価方法が必要である。さらに、「環境因子」は促進因子にも阻害因子にもなりうるものであり、対象者にとって活動と参加に影響を与える因子を適切に抽出することが求められる。

E. 結論

評価尺度を用いて個々の疾患や健康状態等の程度を評価することや、約 1500 の ICF コードを用いて個人の機能と能力を系統的に分類し、数値化することは可能である。しかし、その数値は疾患や個人の環境に応じて変化しうるし、同じ疾患であっても環境により異なった影響を与えることになる。ICF の各構成要素について、何が相互作用として働いているのか、生活機能に影響を与える因子が何かについて科学的分析を行い、地域包括ケアに必要な情報を明示することが必要である。

F. 研究発表

論文発表

小松雅代. ICF の活用の現状と今後の展望. 日本診療情報管理学会誌. 2021;32(4):3-8.

学会発表
なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

特許情報
なし

実用新案登録
なし

その他
なし

参考文献

1) ICF 国際生活機能分類－国際障害分類
改訂版－：世界保健機関（WHO）,中央法
規, 2008.

表 評価尺度と ICF の構成要素

	生活機能			背景因子
	心身機能 (b)	身体構造 (s)	活動と参加 (d)	環境因子 (e)
1 AIMS(Arthritis Impact Measurement Scale)	○	○	○	○
2 FLP (Functional Limitations Profile)	○	○	○	○
3 LIFE-H (The Assessment of Life Habits)	○	○	○	○
4 MDS (Model Disability Survey)	○	○	○	○
5 QLI (Quality of life index)	○	○	○	○
6 The Washington Group	○	○	○	○
7 WHOQOL(The World Health Organization Quality of Life)	○	○	○	○
8 自己実現評価シート	○	○	○	○
9 Barthel Index	○	○	○	
10 DASC-21 (The Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21)	○	○	○	
11 DLQI(Dermatology Life Quality Index)	○	○	○	
12 EQ-5D (EuroQOL 5 Dimensions)	○	○	○	
13 FIM (Functional Independence Measure)	○	○	○	
14 GOHAI (General Oral Health Assessment Index)	○	○	○	
15 Skindex29	○	○	○	
16 Hamilton Depression Scale	○	○	○	
17 HHIE-S (Hearing Handicap Inventory for the Elderly Screening Version)	○	○	○	
18 ICF REHABILITATION SET	○	○	○	
19 LHS (London Handicap Scale)	○	○	○	
20 MMSE(Mini-Mental State Examination)	○	○	○	
21 NEIVFQ-25	○	○	○	
22 ODI (Oswestry Disability Index)	○	○	○	
23 Pain Disability Index	○	○	○	
24 RDQ (Roland-Morris Disability Questionnaire)	○	○	○	
25 SDS (Self-Rating Depression Scale)	○	○	○	
26 SF-36 (MOS 36-Item Short-Form Health Survey)	○	○	○	
27 SIP (Sickness Impact Profile)	○	○	○	
28 WHODAS II	○	○	○	
29 介護保険認定	○	○	○	
30 BIC-11 (Burden Index of Caregiber)	○	○		
31 GDS(Geriatric Depression Scale)	○	○		
32 ZARIT	○			○
33 Lawton Index		○	○	
34 LSNS (Lubben Social Network Scale)		○	○	
35 TMIG-index(Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology-index)		○	○	
36 Vitality Index		○	○	
37 DRP(Diabetes Recognition Program)		○		